

泉市長招き、マニフェスト検証大会

11月16日(日)午後1時30分～4時 勤労福祉会館多目的ホール

来年4月の明石市は、市長、市議のダブル選挙です。もう半年余りに迫りました。この12月ぐらいからは立候補予定者の名前が具体的に出てくるはずですが、「明石市政の主権者」である市民は、この4年間の市政を検証し、来るべき選挙で、明石市のかじ取り役にどのような人材を選ぶかの準備をしなければならない時期です。

政策提言市民団体である「市民自治あかし」は今年春以降、泉市政の政策を市民の目から見てどのように評価するのか？ 明石市の政策的課題をどのように市民に提起するのか？をめぐって、検証作業を続けてきました。とくに泉房穂市長は2011年4月の市長選挙に際して、当時の市民団体「明日の明石市政をつくる会」が市民集会を重ねて取りまとめた「市民がつくる市民の政策」である「市民マニフェスト」について「総論において異論はない。基本的に賛成だ。実現に努力したい」と公開討論会で約束しています。

市民の立場からの政策検証結果をもとに、市長と公開で意見交換

このため、11月16日(日)の午後、泉市長を市立勤労福祉会館の多目的ホールに招き、市長が選挙に際して掲げた自らの7項目の公約と合わせて「市民マニフェスト」について市民サイドで検証した結果をもとに、3年半の市政を検証する大会を開催します。

この検証大会には多数の市民にご参加いただき、市民自治あかしのスタッフと泉市長との意見交換の中から明石市政の課題を深めていただきたいと願っています。検証大会にはどなたでも参加できます。

「市民がつくった市民の政策」で、分権・自治のまちづくりをめざす

2011年春の市長・市議ダブル選挙は、明石市が自治体の“憲法”である「自治基本条例」を前年4月に施行してから初めての選挙であり、「参画」と「協働」「情報共有」を掲げた自治基本条例にもとづく本格的な「市民自治」の姿勢を築いていく極めて重要な選挙でした。これまでの市政の体質や運営を根底から改めて、市民主体のまちづくりを進めていくトップリーダーを選ぶ選挙でした。

選挙は現在の泉市長が、対立候補の県庁OBを69票というきわどい票差で破り、市政を担当しました。

マニフェスト検証大会は、本来は4年間の任期の折り返し点である2年後に選挙に際して掲げた政策(マニフェスト)の中間評価をおこない、市民に問うものですが、今回は市民の側から3年半の市政を検証し、市長と意見交換します。

市政の基本姿勢から個別具体的な政策まで、35項目を検証・評価

市民マニフェストは、自治基本条例に基づく「市民参画」と「協働のまちづくり」を進める市政運営の基本の仕組みづくりや姿勢に関わる政策をはじめ、福祉や教育文化、明石らしい環境を活かした生活産業都市づくりをめざす具体的な政策など35項目に渡っています。

市民がこうした政策を勉強し、市政に問いかけていく活動を実践することから「市民自治」の芽を育て、その担い手となる市民の力を育てていきます。

(当時の「市民マニフェスト」は市民自治あかしのホームページに掲載しています)

Before 解体前



半世紀ぶり、海峡が見えた！！

国鉄明石駅高架駅1964年、ダイエー開店1966年、東館1974年

After 解体後2014. 6. 23



◆…明石駅前からの海峡景観を目隠ししていた旧ダイエーなどのビル群が解体されて、海峡と淡路島が見えるようになった。半世紀ぶりのことだ。（明石公園本丸跡から）このまま何も建てずに、駅前空間を海峡景観を取り入れたイベント広場として活用するのと、超高層マンションや必然性のない再開発ビルで再び眺望と景観を遮ると、どちらが「明石らしいまちづくり」だろうか???（写真上）

海峡景観 2題

◆…明石の中心市街地のシンボルの一つだった「たこフェリー」が廃止され、明石港のど真ん中のフェリー跡地に高層分譲マンションが建設中だ（写真下正面クレーン右側）。完成すれば明石駅前中心市街地のシンボル道路である銀座通り（駅前通り）から望める海峡景観が、マンションで目隠しされる。ああ…。（写真下。正面黒っぽい建物が地上からは淡路島の眺望も遮る）

